

潜在意味解析モデルと計算機シミュレーションによる決定方略の推定と意思決定支援



経営情報学科

玉利 祐樹

● 連絡先

E-Mail : tamari@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード

意思決定, 不確実性, 状況依存性, 過程追跡法, リスク認知, リスクコミュニケーション, 意思決定支援

本研究では、意思決定方略の定量的推定法を開発し、開発した手法を用いて推定された方略と意思決定の関係を定量的に検討し、消費者の意思決定支援に向けた処方的な利用方法の提案を目的としている。多肢多属性意思決定状況において、選択肢の数、属性の数、呈示方法、表現方法、時間的切迫といった種々様々な要因に依存して、走査される選択肢や属性の順序が変化し、そして選択結果が異なることが知られている。このような意思決定の状況依存的な側面を記述するために、様々な決定の仕方（決定方略）が見いだされてきた(Payne, et al, 1993)。一方で、決定方略の推定や分析および、その適用においては、定性的な記述に留まっていると言える。そこで、本研究では、過程追跡法で用いられる言語プロトコルデータ、眼球運動データや、描画データを対象に、潜在意味解析モデルや、決定方略の計算機シミュレーションを用いて、決定方略の推定および、推定された方略による意思決定の説明可能性の定量的な評価を行い、意思決定支援に向けた情報呈示法の提案を行う。

